

少年の自殺を考える



次の世代を背負って立つ青少年少女が、ある日、自らの手で生命を断つ——子供の自殺ほど、私たち大人にとって胸を突かれる衝撃はありません。

最近の傾向は、性格的にも明るく、何不自由なく育てられ、とても自殺など考えられない、いわゆる普通の子供の自殺がふえています。

昨年(1月～6月)の間に全国で453人の少年、少女が自殺しています。なぜそんなに死に急ぐのか——子供の自殺について考えてみました。

データ・少年の自殺 女の子の自殺が増える

少年の自殺——ある少年は、昨年(1月～6月)の上半期(1月～6月)に発生した少年(十九才未満)の自殺について、性別、動機など、その背景をまとめてみますと、次の通りです。

△総数▽四百五十三人。昭和五十二年の上半期に比べて三十二人、七・六%ふえています。

△性別▽男の子が二百九十八人、六六%、女の子は百五十五人、三四%。五十二年の上半期に比べると、男の子の九人増に対し、女の子は二十三人も多くなっています。

△学年別▽小学校から大学生までの二百十九人のうち、一番多いのは高校生の百四十六人で全体の六七%を占めています。次いで中学生の一八%(三十九人)で中、高校生合わせて八五%にもなります。

また、小学生は四人、大学生は三十人となっています。

△原因・動機別▽トップは学校での問題で約三割。次に男女関係の一六%、病気の二一%などとなっています。



温かい親子関係を
浜松医科大学
精神神経科教授 大原 健士郎

このことを、家庭も学校も一度、真剣に考えてみる必要があります。

「子供は子供、親は親」とお互いの人格を尊重するという大義名分をいかに、大人はあまりにも子供のことを知らずぎるのではないのでしょうか。

自殺しようとする子供は、必ずこれが第一です。その中で子供との人間関係をつくっていく。「テレビで過保護はよくない」といったからといって、それを鵜のみにして、翌日から子供に厳しくあたったりするのは愚の骨頂です。

子供は、一人ひとりみんな違います。しつけは、日常の家庭づくりの流れの中で、その子にあった方法を見つけないがらやっていく。これができて初めて、親としての資格があるといえるでしょう。

借りのものの画一的なしつけからは、本当の親子関係は生まれません。

温かい親子関係ができていれば、子供は自殺しようなどとは思わないのです。

少年の自殺を考える 子供の心を読みとる努力を

一口に自殺といっても、その動機や背景はさまざまです。大人にとっては、なかなか理解しがたい一面もあるでしょう。

しかし、少年たちは、苦しみぬき、その結果、自らの生命を断つたのです。その胸中たるや、察するに余りあります。ふだんから、少年たちの心を読みとり、死に急ぐ気持ちを思いとどまらせるために、私たち大人は何をなすべきか——。参考までに、警視庁がまとめた「少年の自殺防止十則」から、その一部をご紹介します。

少年の自殺は、目撃して接している家族や学校の先生、友だちも気づかぬまま、何の前ぶれもなく突然起こる、と思われているように思えます。

しかし、あとになって考えてみると「そういえば話していたことがある、といっていた」とか「なんとなく無口になった」など、いくつもの兆候に思い当たること必ずあります。

少年の自殺によって現在のつらい状況から逃げ出したと願う半面、どうかかして助かりたいという気持ちを強く持っている。つまり、自殺のサインと表れるのである。

子供が訴えかけるサインを見逃さないために、家族や周囲の人は、日ごろから何でも話しあえる関係をつくることに努めてください。

さて、そのサインですが、「学校をやめたい」「もう家族の重荷にならなくてすみそう」「旅に出る」などの間接的表現に始まり、気分が沈みがちで顔色もさえず、いらだち、不眠、食欲不振などの兆候があらわれます。

さらに「生きていてもつまらない」というような直接的なサインを出すようになり、日記やノートを焼き捨てるなど、身辺の整とんをするようになる、もはや危険なサインと覚えてよいでしょう。



たえば、受験勉強——。死ぬ気になつてやれば、死んだ方がましだ、という気持ちになつていられるとも知らず、大人は、死の恐怖を十分に知っている。死んだ気になつて努力することは不可能です。

しかし、子供は死の意味、自殺の意味を十分理解しておらず、ただ、自殺の「行為」がテレビなどを見てよく知っています。これが怖いのです。殺されたはずのタレントが

「死の教育」をしていないか 励ましがかえって重荷に



チャンネルを回すと、ちがう番組ではニコニコ笑いながら歌っている。

子供は、目の前の苦痛から逃れるために自殺(の行為)を選ぶ、ということにもなりかねません。

自殺には必ず「準備状態」があるといわれます。ふだん耳にしている「死の教育」が潜在的に心の中にその影を落とし、ある瞬間に自殺へと切り替わることになるのです。

小さな失敗を恐れさせず、もう一度困難に挑戦させるねばり強さを植えつけたいものです。人生は、死んだつもりでやっても、期待通りの結果がいとも出るとは限らないのですから。

休日当番のお医者さん (2月分)

2月 4日	白根市菱潟	大野医院	0253 72-2930
11日	白根市下鷲	真柄医院	02537 7-2011
12日	白根市新飯田	関川医院	025374 2002
18日	白根市下木山	川野医院	0253 72-2554
25日	白根市親和町	安宅医院	0253 73-1188



入札結果

- ① 小須戸地内 柏建設 二百十万円
 - ② 横川浜地内 岡田建設 五百十万円
 - ③ 矢代田地内 榑高建設 百八十万円
 - ④ 鬼谷地内 阿部建設 四百二十万円
- (日付は完了予定日)

歳末慰問に 30万2千円を 配分する

社会的、経済的に恵まれない方々を激励するとともに、明るい正月を迎えていただくこと、例年実施している社協の重点事業である歳末慰問を皆様からの温かい歳末たすけあい募金を基にして、次のとおり12月中に配分しました。

▽生活保護世帯(23世帯)に慰問金を贈った。

▽在宅心身障害者(7名)に慰問金を贈った。

▽長期施設入所(入院者)20施設、45名)に慰問金を贈った。

▽在宅心身障害者(7名)に慰問金を贈った。

▽交通遺児(4名)に慰問金を贈った。

昭和53年度 社協会費

社協代議員を通じて、町の社会福祉協議会々費の納入について、お願いいたしておりましたが、会員各位のご理解とご協力により、二、三万七、一〇〇円(二、三七一世帯)が集まりました。深く感謝いたします。